

FUTABA

新5カ年計画の進捗と今後の取組み

2020年5月21日
フタバ産業株式会社
(#7241)

- 1. 新5カ年計画の概要**
- 2. 効率化、管理面強化の取組み**
- 3. 将来の成長に向けた取組み**
- 4. 今後の取組み**

1. 新5カ年計画の概要

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
体制整備	計画の確実な実施	計画の確実な実施	計画達成の目途付け	計画達成

「よい品、より安く」を基本とした
新たな成長ステージ

基本姿勢

将来にわたり、成長性が期待できる分野へのリソースの重点投入と、収益性が期待できない分野の見直しを通じて、会社としての継続的成長を目指す

基本方針

- 「安全、品質、ものづくり」の基本の徹底
- 安定した収益確保のための構造改革と原価マネジメントの強化
- 拠点最適化と経営資源の効率的な配分
- コア技術の更なる進化と新規分野への活用
- 人材育成と組織力の強化

目指す姿

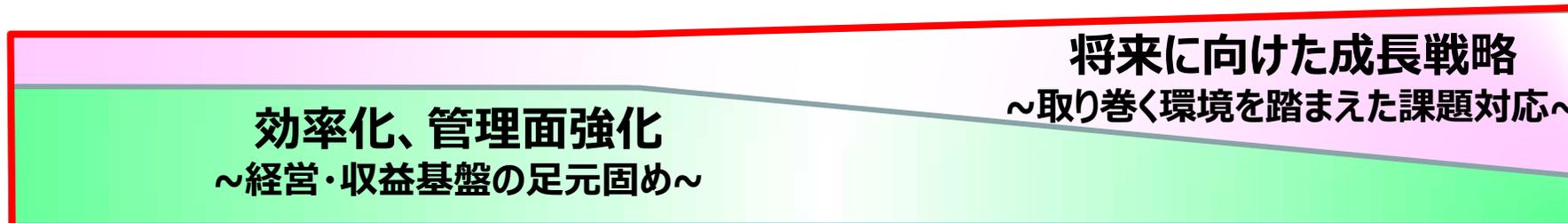
「挑戦する人の
の集団」

「モノづくりで
社会に貢献」

「新しい価値を
世界へ提供」

1. 新5カ年計画の概要

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
-------	-------	-------	-------	-------



「効率化・管理面強化を最重点とした取組み」を継続しつつ、
2018年より「将来の成長に向けた取組み」へ軸足を移行

《主な取組み》

効率化、管理面強化の取組み

- ・経営意思決定プロセス改革による
マネジメント強化
- ・**生産管理の効率化**
- ・国内および海外**拠点の最適化**
- ・FUTABAグループ**リスク管理**の強化

将来の成長に向けた取組み

- ・**グローバル事業計画策定**による部品事業
の全体最適化
- ・**ボデー系商品の新たなビジネスモデル**に向けた
体制構築
- ・**電動車**に向けた開発強化

2. 効率化、管理面強化の取組み

5

マネジメント強化

経営の意思決定プロセスの見直し

ものづくり改革 + **マネジメント改革**
- 経営判断の迅速化 と 責任と権限の明確化 -

【しくみ】
構造・組織

収益管理構造および
組織の見直し

- ・**疑似事業部の設定**と各事業での収益管理
- ・**企画統括部新設**による車種別の収益管理

【方法】
会議体

上位会議体および
工程/機能会議体の見直し

- ・全社会議体の**整理と位置付け**明確化
- ・**意思決定の迅速化**

【プロセス】
報告・決裁

仕事の進め方および
決裁方法の見直し

- ・**稟議制度廃止**
- ・仕事の進め方変更
お金(支払)の決裁
⇒**仕事(企画)の決裁**

2. 効率化、管理面強化の取組み

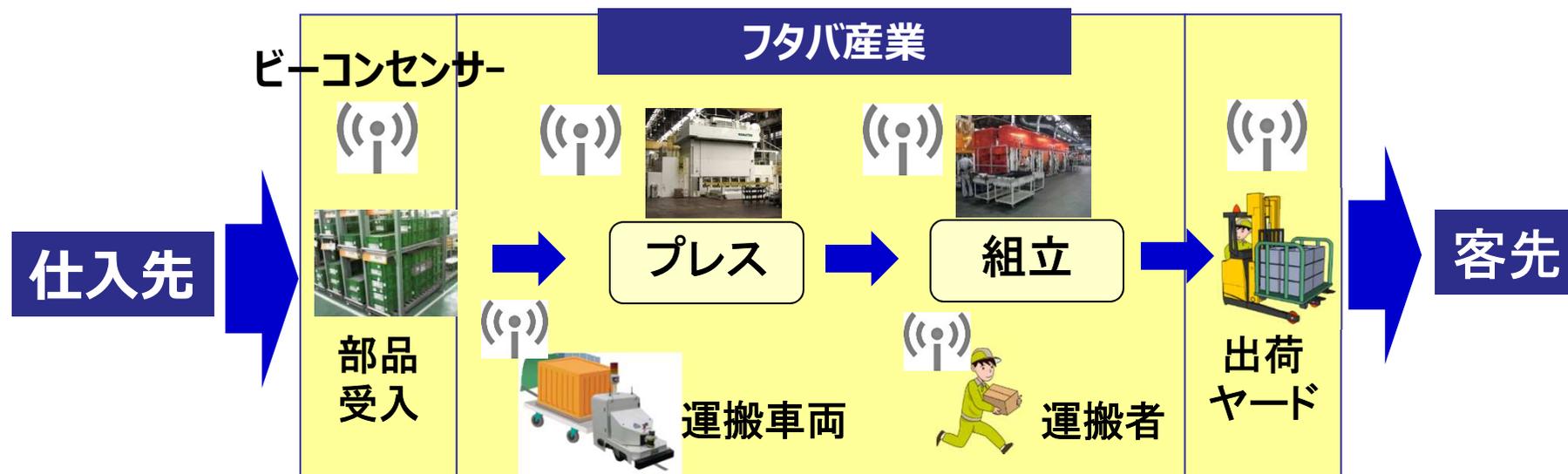
6

生産管理の効率化

【取組み】設備、人、運搬車両、部品ラックをセンサーで繋ぎ、

IoT、AI活用による構内物流の最適化

【ねらい】リードタイム短縮、生産性の向上



① 構内の人や車両の位置、動きを定量化

② 分析アルゴリズムを開発し、ネック工程を見える化

⇒ 大学との共同研究開発を開始し、岡崎工場のモデルエリアで効果検証済み。今年度は岡崎工場全体に拡大し、更に実用化していく。

2. 効率化、管理面強化の取組み

7

拠点の最適化（現在取組み中の課題）

北米

- ・合理化、収益管理、現場管理の更なる向上による体質強化
*RAV4切替成果の確実な継続

中国

- ・客先の**増産および高付加価値製品**の受け入れ体制構築

欧州

- ・**欧州統括の機能充実**による管理強化(FMUK、FCZ)
- ・**現地主導**の収益構造改革PJTの推進(FCZ)

インド・ インドネシア

- ・ERP運用による**統合的な経営管理レベルの向上**(FMI、FIG)
- ・客先ニーズに合わせた**規模拡大**(FIG)
- ・**生産台数変動に対応**できる体制の構築(FII)

日本

- ・三河地区の工場および子会社(フタバ九州、フタバ平泉、フタバ須美※)のBCP対応を含む生産拠点の最適化

※旧 アピックス 2020年4月よりフタバ須美に商号変更

2. 効率化、管理面強化の取組み

8

FUTABAグループリスク管理の強化

【背景】

海外市場の拡大に伴い、連結子会社を含む海外売上比率が増加



海外子会社を含めた**連結でのマネジメント強化が必要**

【FUTABA業務品質管理標準の策定】・・・2019年9月

会社経営に必要な管理業務の『**あるべき姿=良品条件**』をFUTABA
グループ共通のガイドラインとしてまとめたもの

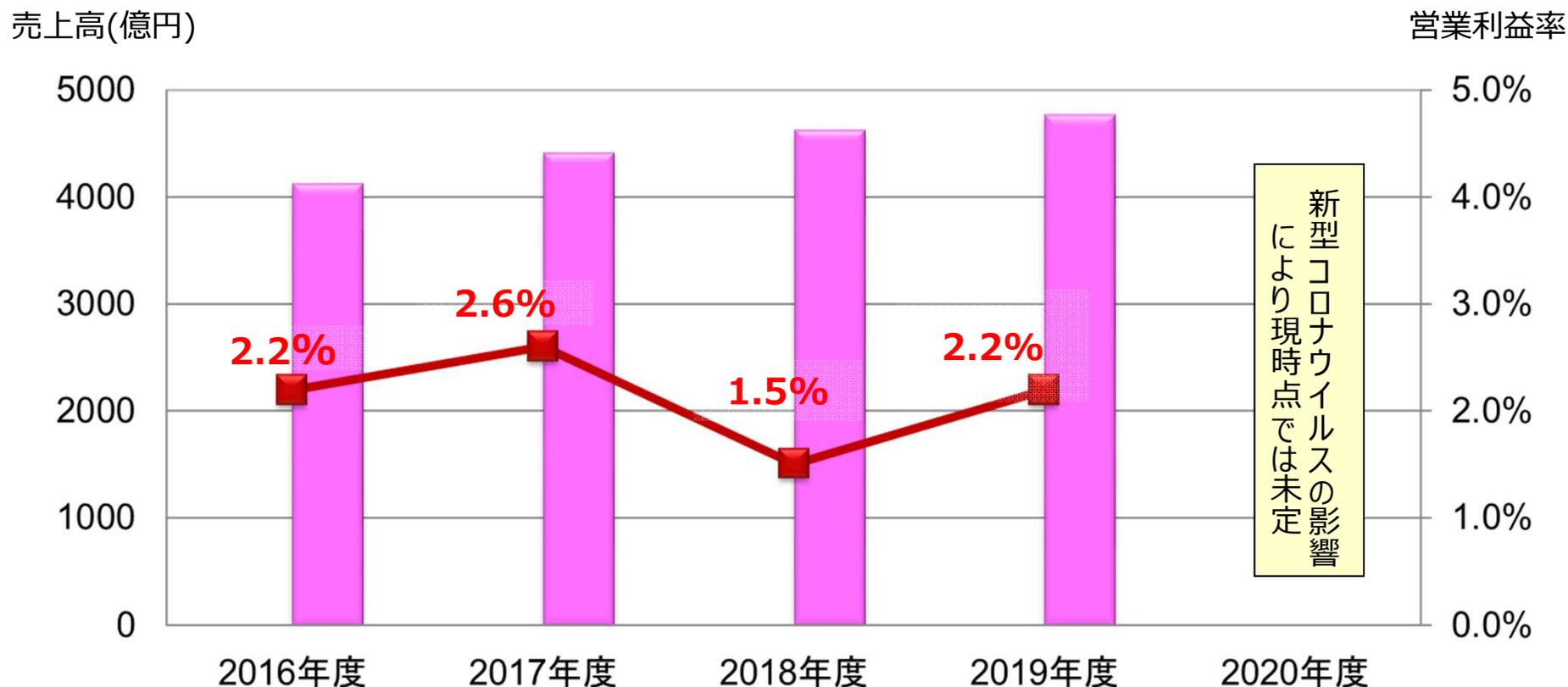
【ねらい】

- ・FUTABAグループ全体の**経営品質の向上**
- ・業務取組み姿勢のグローバルでの**意思統一と連携強化**
- ・FUTABAグループ全体が**主体性をもったタイムリーな意思決定**

2. 効率化、管理面強化の取組み

売上高と営業利益率の実績

■ : 売上高(実績) ◆ : 営業利益率(実績)



2019年度は、前年比で営業利益率が0.7ポイント増加

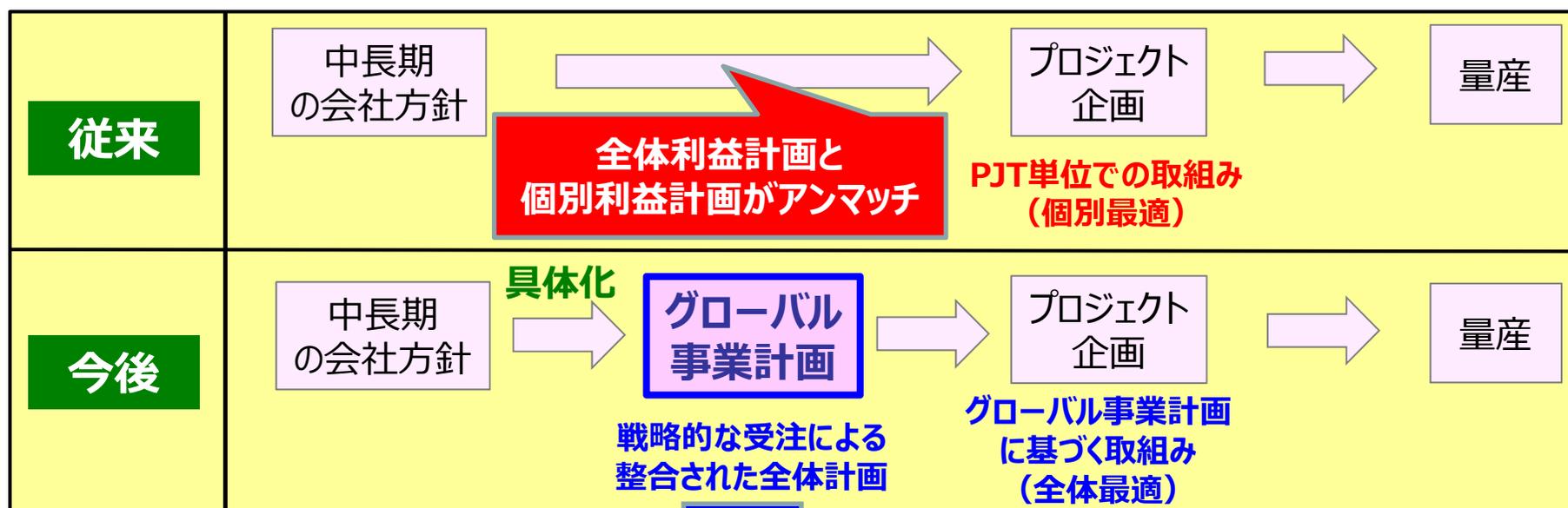
3. 将来の成長に向けた取組み

グローバル事業計画の構築

【グローバル事業計画】・・・2020年2月策定

会社の中長期的な方針の確実な実現に向けて、各部門の中長期計画の調整を図り、整合のとれた全体計画

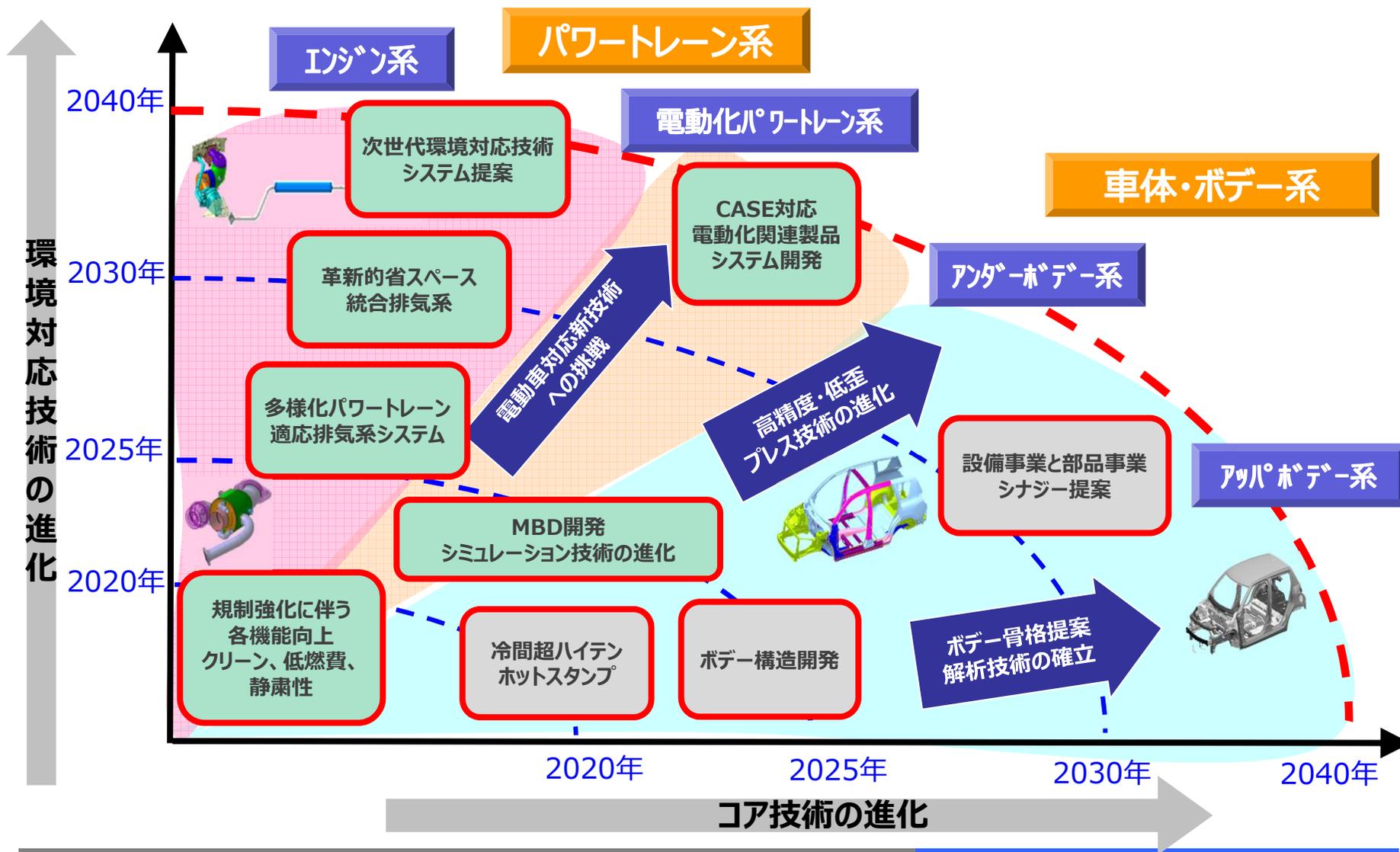
【ねらい】 部品事業の利益最大化



全体の利益計画と地域軸・プロジェクト軸の個別利益計画との合致を図る

3. 将来の成長に向けた取組み

開発強化取組みのロードマップ



3. 将来の成長に向けた取組み

ボデー系商品の新たなビジネスモデル

【課題】 開発・提案力の強化

● 開発の強化

＜開発人員の拡充＞ 2018年度比

- 解析人員：2020年度 6倍
- 設計人員：2020年度 2.5倍

＜設備の拡充＞ 解析設備は2018年度比

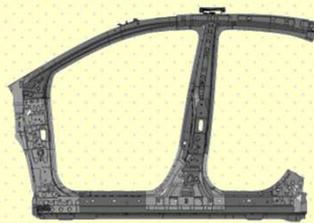
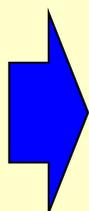
- 解析設備：処理能力 2020年度 12.5倍
(コンピューター) 解析用ソフト 2020年度 3倍
- 評価体制：鉄鋼メーカーと協業で評価・解析を実施

● 提案力の強化



＜部品単位＞

成形性を検討し生産できる形状を提案



＜アッセンブリ単位＞

- 衝突性能を満足した構造提案
- 外販設備部門を有する強み (アッセンブリ技術) を活かした構造提案

企画 構想	構想開発・設計	評価・解析	図面 発行	作り方 検討	生産		
					小規模組立 	中規模組立 	完成車
現状	客先			フタバ		客先	
目指す姿	フタバ						

電動車へ向けた開発強化

1. 排ガスのクリーン化に貢献する排気系部品の開発強化

2. 消音、熱マネジメント、薄板溶接などのコア技術を
活かした新商品の開発

3. 企画・開発組織とMBD(※)、IT活用の強化

※MBD:CAEを活用したシミュレーション解析による開発

4. 今後の取組み

2021年度以降の経営方針/計画

今年度は新5ヵ年計画（2016年～2020年）の最終年度となります。
会社の方向性およびあるべき姿を含め、2021年度以降の経営方針/計画を
検討していきます。

基本コンセプト

新5ヵ年計画

経営・収益基盤の足元固め

- ・成長性が期待できる分野へのリソースの重点投与
- ・収益性が期待できない分野の見直し

意識改革

2021年度以降

将来の成長に向けたイノベーション

- ・選ばれる会社、勝ち抜く会社となるために必要な技術開発
- ・SDGsへの取組み強化
* 今年度より取組み開始

新型コロナウイルスの影響による景気、市場の動向を見ながら進めていきます。

4. 今後の取組み

SDGsへの取組み

客先や取引先、地域社会、投資家の皆様の期待に応えるために、当社では**SDGsの課題**に取り組んでいきます。

体制

- ・2020年1月に、SDGsへの取組みの専門組織となる『**企業行動推進室**』を新設
- ・取締役会メンバー全員参加による『**企業価値向上・SDGs推進会議**』を新設し、推進状況および活動の方向付けについて、3ヶ月に1回フォロー実施

活動ステップ



FUTABA

フタバ産業株式会社

<http://www.futabasangyo.com/>